

経営理念	【学校経営理念】子供一人一人の存在を大切にする学校づくり
	【学校経営方針】一人一人のよさや違いを認める。子供が学校に来たくなるような授業や行事を行う。チームで子供の育ちを支える。
	【学校教育目標】笑顔と「ありがとう」があふれる学校
	【目指す児童像】思いや考えを表現しようとする子 自分や友だちを大切にする子 あきらめないでがんばる子

短期計画目標(到達指標)	具体的な取組	学校の自己評価		学校関係者評価		年度末検証(改善策等)
		達成状況	評価	考 察	評価	
知 1. 教員の教科等指導力の向上 ・各種学力調査の国語・算数の正答率が全国平均以上 ・全国学力・学習状況調査「授業では、課題解決に向けて、自分で考え自分で取り組んでいますか」肯定的回答が全国平均以上	1. 教員の教科等指導力の向上 (1)全教員授業公開(年1回) ・全校研国語3本(2・4・5年) ・ブロック研3本(1・3・6年) ・学年研 (2)各種学力調査の結果を基に、強みと弱みを分析し、授業改善を図る。 ・分析会や校内研修(年4回以上実施)					
	2. 1人1台タブレット端末を「日常的」に活用する授業実践・教育活動の推進 ・ICTやクラウドの特徴を効果的に活用した授業づくり研修・実践交流 ・授業チェックシート「ICT機器やクラウド環境を効果的に活用している。(3.5以上)	2. デジタルドリル活用(のいちっ子タイム・家庭学習) (1)定期的な活用 ・低学年…週1回以上持ち帰り ・高学年…週2回以上持ち帰りと週1回以上のいちっ子タイムでの活用 ・長期休みの持ち帰り学習 (2)ICTを効果的に活用した授業改善 (3)ICT活用自主研修実施				.
徳 1. 生徒指導の充実 ・道徳意識調査「自分のよいところ」肯定87%以上 ・学校教育診断アンケート「学校が楽しい」強肯定68%以上	1. 生徒指導の充実 (1)学級経営に関する研修の実施、生徒指導上の四つの視点を意識した授業づくり、互見授業の実施(年3回以上) (2)学校行事・集会等の充実を目指す児童会活動を実施 ・なかよし班集会・全校集会の実施(月1回以上)					
	2. いじめの防止 ・道徳意識調査「いじめはいけない」肯定95%	2. いじめの防止 (1)いじめ重大事態化防止研修の実施 (2)学校生活アンケートや道徳意識調査等を通じた問題の早期発見・改善 (3)道徳アンケートと、それを基にしたいじめに関する道徳の授業・検証を実施(年2回)				
	3. 不登校の予防と支援 ・「ユニバーサルチェック自己診断」5つの事項の実施率の平均達成率90% ・新規不登校5名以下	3. 不登校の予防と支援 (1)教室内の1次支援を意識 ・チェック表を用い、教室内1次支援の状況を学期ごとにチェック実施率100% (2)児童の欠席状況を全教職員が把握。気になる児童は早期に支援会開催。対応策検討。 (3)不登校が理由で欠席(連続3日以上)した児童の支援会等を開催100%				

短期計画目標(到達指標)	具体的な取組	学校の自己評価		学校関係者評価		年度末検証(改善策等)
		達成状況	評価	考 察	評価	
体 1. 体力と技能の向上 ・体育アンケート「体育の授業で目標やめてを示している」「やってみようの活動を実施している」において肯定85%以上 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、全校のD・E層のうち、特に低い項目2つの運動に取り組み、5%向上を目指す。	1. 体育の授業力向上 (1)「うちの子ども体力・運動能力向上プログラム」活用方法の提案(学期ごと年間2回) (2)体育の「のいち授業スタンダード」定着を図り授業改善に努める。(授業提案年間2回)					.
	2. 健康教育 ・生活がんばりカード「早寝3日以上」達成68%以上 「早起き3日以上」達成70%以上 「メディアの視聴時間2時間以内3日以上」達成70%以上	2. 健康教育 (1)生活・体力がんばりカードの結果を基に保健指導を行う。 ・生活・体力がんばりカード年3回実施。 ・身体測定時の保健指導年1回実施。 (2)家庭への啓発活動 ・保健だより年12回以上発行。 (3)全校集会で啓発活動を行う。				
基盤となる体制等 1. 防災を中心とした安全教育・安全管理の充実 ・「学校は防災学習・交通安全・不審者対応などの安全教育に力を入れていると思いますか。」で85%以上(保護者) ・「地震や火事の時どうすればよいか分かる。」で95%以上(児童)	2. 防災を中心とした安全教育・安全管理の充実 (1)防災参観日で、全学年で引き渡し訓練の実施(年1回) (2)実践力向上を目指した避難訓練の実施(年3回以上) (3)外部機関を活用した不審者研修の実施(年1回)					
	2. ワークライフバランスと働き方改革の推進 ・時間外勤務時間月45時間・年360時間以内を遵守できた教員の割合70%以上	4. 学校における働き方改革の推進 ・時間外勤務時間が特に多い教職員への定期的な働きかけ・面談の実施。 ・業務改善検討委員会の設置(年3回以上実施)				
	3. 教職員のメンタルヘルス対策の推進 「自分自身の仕事に対し、やりがいを感じている。」と回答する教員92%以上	3. 教職員のメンタルヘルス対策の推進 ・臨機応変な面談の実施 ・若年教職員へのサポート体制の充実				
	4. 保幼小の円滑な連携・接続の推進 ・各学期1回以上の交流実施 ・校内研修への参加年2回以上	3. 保幼小が互いの教育内容を理解し合う取組を実施 ・1学期中に年間の交流予定を各園と相談・決定。 ・新任者や各学年から1名以上、保育士体験や校内研修へ参加。				
職場風土づくり 不祥事を生じさせない職場の風土づくりの推進 ・継続的な研修の実施 ・教職員による不祥事件数(0件)の継続	・不祥事を生じさせないための研修(学期に2回以上実施)					